

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
102	一般言語学 <General Linguistics>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
言語学	佐久間 淳一(SAKUMA Jun'ichi)		後期	金曜：2限
講義題目 Title	統語論研究法(B)			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	この授業は、前期の統語論研究法(A)と内容が連続しています。後期だけの受講も認めますが、できる限り、前期の統語論研究法(A)と合わせて受講してください。			
授業の目的 Purpose	この授業は、統語論の基本概念を復習するとともに、その知識を実際の統語分析に活用できるようになることを通して、専門分野の研究方法に基づき、文献や資料を収集・分析し、そこから必要な情報を抽出し研究に活用する能力を身に付けることを目的としています。 The aim of this course is to review basic concepts of syntax and to learn practical methods necessary for syntactic analyses.			
授業の内容 授業の方法 Content	この授業では、英語で書かれた統語論の入門書を用い、テキスト部分を読み進めるとともに、掲載されている練習問題を解くことを通して、統語分析の初歩を学びます。テキスト部分、練習問題ともに分担を決め、担当者には授業でプレゼンテーションをしてもらいます。また、必要に応じて課題を課しますので、自宅で解いて、次回の授業時に提出してください。 後期に取り上げる内容は以下の通りです。 第9章 Voice and valence (態と結合価) 第10章 Multi-clause construction (複文構造)			
教科書 テキスト Textbooks	Thomas E. Payne, "Exploring Language Structure: A Student's Guide", Cambridge University Press.			
参考書 References	佐久間淳一編『言語学基本問題集』、研究社 その他の参考書は、授業中に適宜紹介します。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	テキスト部分、練習問題とも、担当者はレジュメを作り、授業でのプレゼンテーションの準備をしておいてください。プレゼンテーションに必要なレジュメは、授業の前日までに提出してください。担当者以外の方も、テキスト部分を読み、練習問題を解いて、授業での議論に積極的に参加してください。課題が課された場合は、自分で解いて、次回の授業時に提出してください。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	担当した部分のプレゼンテーション(20%)、提出課題(20%)、学期末レポート(60%)の合計で評価します。統語論の基本概念が理解できているかどうか、統語分析の基本が身についているかどうかを確認します。 なお、5回以上講義を欠席した場合は、学期末レポートを提出しても単位を認定することができないので、注意してください。			
連絡方法 Contact information	事前にメール(jsakuma@lit.nagoya-u.ac.jp)をもらえれば、随時対応します。			